

理科センターだより

佐渡市立理科教育センター

令和6年11月28日 No.8
〒952-1325 佐渡市窪田60
TEL 0259-51-4649
FAX 0259-51-4650
E-mail sadori@sado.ed.jp

子どもがまん中の理科

今年度、佐渡市から「いきいきわくわく科学賞」への応募が合計26作品ありました。昨年度より7作品も増えました。夏休みも短く、自由研究に取り組む時間も少なくなっているにもかかわらず、このような子どもたちがまだまだたくさんいることに喜びを感じます。

これもひとえに、佐渡市内の各学校で、子どもの科学への興味関心を高める授業、わくわくする授業が繰り広げられている証拠であり、その日々のご尽力に敬意を表します。

これからはどんな教科でも「子どもがまん中の授業」を目指してほしいとされています。「教師は教える人から支える人になり、よいコーディネーター、ファシリテーターになりましょう。」そして「追求したい課題を自分で決め、個別と協働を自在に選択する自己決定の場を大切にしましょう。」とされています。

「あれっ?」「不思議だな?」と思うことから子どもたち自身の問いを見付けさせ、見方・考え方を働かせながら自己調整し、協働的に解決させる「子どもがまん中の理科授業」をこれからもぜひ進めていってほしいものです。理科センターも、そんな授業のお手伝いができるようにしていきます。よろしくお願いいたします。

研修会報告

11月

佐渡学研修会⑥（加茂湖再生等環境教育研修会）

11月5日（火）



佐渡自然共生科学センターの新潟大学教授、豊田光世先生を講師にお招きして、加茂湖の自然環境再生に関する研修を行いました。今年度も佐渡島加茂湖水系再生研究所（カモケン）の活動や柴づけ漁について、いろいろ教えていただきました。また、今後の新しい取組として「浮島実験」による湖水浄化についても、詳しく説明していただきました。そして、カモケンの活動を多くの子どもたちに知ってもらいたいとのことでした。



<参加者の感想> 抜粋

- 十数年間も続けて加茂湖の環境保全に関わる活動を続けてきた熱意と情熱に感動しました。また、浮島実験のような新しい取り組みにチャレンジしている姿勢にも感銘を受けました。
- 加茂湖の自然のために懸命に取り組まれている方の思いに触れることができました。子どもたちにとっても、校外で人の思いに触れたり、教えてもらったり、自分たちも体験したりすることは、とてもよい学びになると感じました。教員としてそのような学びをつなげる役割ができるようになりたいと思いました。

指導基礎研修会（中1理科 大地の成り立ちと変化）

11月8日（金）

中学校の単元「大地の成り立ちと変化」の指導基礎研修会を行いました。

地層のイメージを持たせ、そのつながりや傾きを実感させるためのモデルづくりや、思考を助けるための簡単な実験方法等を紹介し、参加者同士でその効果について意見交流をしながら研修しました。

活用のアイデアや制作過程での問題点などがある話しの話し合わせ、「対話的で協働的な研修」となりました。



佐渡学研修会⑦（トキの生態研修会）

11月14日（木）



今年度最後の佐渡学研修会が、トキ交流会館で行われました。今年度も新潟大学佐渡自然共生科学センター教授、永田尚志様よりトキの生態と野生復帰の現状について教えていただきました。

営巣林や営巣木の調査結果等、最先端の研究成果等興味深いお話も聞きました。

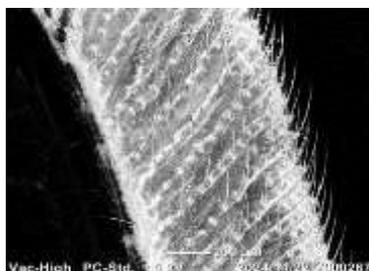
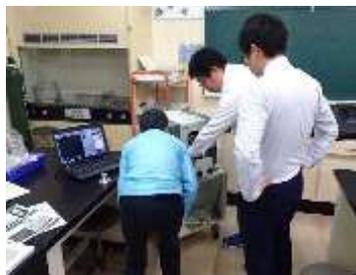
天候にも恵まれ、現地観察の時間もはっきり確保できました。餌を食べている様子や、群れて休息している姿などをじっくりと観察することができ、佐渡のシンボルであるトキについて学ぶことの重要性を実感できる研修会になりました。

<参加者の感想> 抜粋

- トキがねぐらの木に20羽以上もとまっている様子を見せていただき、感動しました。これからもトキの様子に関心をもって見守りたいと思います。
- 講義では継続した貴重なデータを元にお話をお伺いできました。現地観察では実際のトキを観ながら質問にたくさん答えていただきすばらしく有意義な時間でした。ありがとうございました。
- トキは佐渡だけに増えればよいのではなく、全国規模で野生復帰していくことが最終目的であることを学びました。そのことがまさに自然環境保全活動であり、地球温暖化防止の最前線の取組だと思いました。

ワンポイント研修会（走査型電子顕微鏡等）

11月22日（金）



ウスバカゲロウの成虫
（羽の一部）

以前、上越教育大学より理科センターに寄贈された走査型電子顕微鏡について、紹介を兼ねて体験研修を行いました。実際に操作したり、画像を観たりして、ミクロの世界を体験していただきました。

普段あまり使ったことのない機材について体験することの意義を感じる研修となりました。今後も、児童生徒の科学研究などに活用していけるようにPRしていきます。

今後の研修会

- 公開授業研修会「小6 水溶液の性質」 → 12月3日（火） 高千小学校 藤原大輝教諭
- ワンポイント研修会⑥ → 1月23日（木）放射線学習